



## 升谷町長が語る2期目の町づくりとは

私は、1月25日に執行されました、西ノ島町長選挙におきまして、町民皆様のご支援をいただき、再選させていただきました。

住民の皆さまが満足感の持てる町づくりをさらに推し進めるために、再度、町政を担うことになり、1期目以上にその責任の重さを実感し、改めて身が引き締まる思いがするとともに、決意を新たにしているところでございます。

現在、全国では地方創生・人口減少問題等が大きな課題となっており、本町でも産業振興・少子化対策・定住対策等の様々な課題を抱えています。

地方創生・人口減少問題には、「雇用の場の創出につながる産業の振興」「安心して産み育てることのできる子育て支援・少子化対策」を最優先に考えておりますが、「福祉・医療・教育の充実」も人口減少対策には欠かせない重要な要素だと思っております。

これらの実行に当たってもスピード感を持って取り組んでまいります。

そのため、引き続き「地域産業の活性化」「保健・医療・福祉の充実」その財源の裏付けとなる「計画的な財政運営」の3点を最重要課題として町政を進めてまいります。

## ①地域産業の活性化

町の基幹産業である漁業・畜産・観光の振興に加えて、雇用の場を増やすことが、極めて重要だと考えております。

恵まれた自然環境や農林水産物などの地域資源を最大限に活かした特産品の開発、ブランド化等に取り組むとともに、地産地消の推進や起業支援、担い手育成など、地場産業の振興による地域経済の活性化を図ってまいります。

## ②保健・医療・福祉の充実

離島に住む我々にとって、安心して暮らしていくためには、医療の充実は最も重要な要素です。幸いにも本町には、島前の中核病院である隠岐島前病院があります。これまで、リハビリ施設の拡充を行い、CT機器の更新、患者の情報を共有する「まめネット」への参加など医療の充実に努めてまいりました。今後も医療従事者等の確保につとめるとともに、更なる医療設備の充実を図り、信頼される医療体制づくりを進めてまいります。

また、現在、新たな子育て支援計画、地域福祉計画等について、検討しております。町民の皆さんのお意見を参考にしながら福祉等の更なる充実に努めてまいります。

## ③計画的な財政運営

町政は、財政の裏付けがあつて初めて様々な取り組みができる、限られた財源をいかに有効活用するかが、大切だと考えております。

本町の財政状況は、近年、大幅に改善しておりますが、今後、人口減少による交付税の減額や大型公共事業の実施に伴う借金返済額の増大など予想されます。

こうした不安要素があるものの、深刻化する人口減少問題に取り組むためには、地域振興と財政健全化のバランスを図りながら、事業の取捨選択を行うなど、メリハリのある財政運営に努めてまいります。



副町長  
濱田 明博

2月18日付で濱田明博副町長が再任しました。任期は就任の日から4年間となります。

第2期目を迎えます升谷町政の補佐役として、地方創生・人口減少問題など課題が山積する中で、町長が進める町民の皆様との対話を大切にし、「夢と笑顔のあふれるまちづくり」の実現に向けて、微力ではございますが、誠心誠意努めさせていただきます。

どうか、町民の皆様には今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

副町長には濱田明博氏が就任